

◇ 積算改訂に伴う全国会議報告 ◇

積算委員会

○ 調 査 編

去る、9月24日全地連会議室に於いて、平成6年度改訂歩掛り版（案）検討議題の会議がありましたので御報告いたします。

主な改訂箇所

1) 総 則 編

消費税相当額の追加

調査業務費の間接費に調査管理費（施工管理）を追加

調査業務人件費の職種区分の一部変更

諸経费率図の改訂

2) コンサルティング業務

コンサルティング業務の名称は継続使用

調査種目に空中写真判読を追加

価格表を設計、調査、測量業と同じ積算形態とする。

3) 調査ボーリング

標準能率を建設省に近ずける

岩盤ボーリングに86mmを追加し、56mmを削除

『仮設費』の改訂

一輪車を削除

モノレール仮設に搬入、組み立て、運転、撤去の項目ごとの積算

搬入路仮設（伐採、伐開）の費用計上

4) 探査、計測、試験

比抵抗2次元探査、ジオトモグラフィ、比抵抗トモグラフィの追加

簡易弾性波の削除

表面波探査の報告執筆費（1件当たり）の測点数20点を標準としたものを10点を基準

とする。

低水圧ルジオンの追加

5) 室内試験

土の凍上試験の追加

安定処理土の供試体作成の追加

リング剪断試験の追加

6) 共通仮設

道路交通対策費の数量変更

★ 冬期割り増しについて

北海道など冬期間（11月1日～3月31日）の積算にあたり現場調査に係わる直接調査項目（ボーリング、サンプリング、各種原位置試験等、並びに仮設、給水、運搬費等）に一律30%以上の割り増し率を乗じて補正するものとする。

平成5年度積算資料（工事編）改訂に引き続き、平成6年度積算資料（調査編）改訂版の編集作業を全地連積算委員会にて行っております。

版を重ねるごとに、内容が充実し、日進月歩の技術革新に追い付くため、各委員の方々の御努力には、感謝いたしております。

また、新規追加項目及び、内容改訂は、前回、会員各社に協会からのアンケートの依頼により、纏めたものです。その折りには、御協力いただき有難うございました。

東北地質調査業協会の会員各社には、調査編の平成6年度改訂版は、来年の1月中旬に配布予定です。

また、本年度の積算説明会は、山形県、秋田県を予定しておりますので、担当地区委員の方々には、御協力をお願い致します。

○ 工 事 編

去る10月1日全地連主催の積算（工事編）全国会議が行われましたので概要を報告いたします。

議題は、平成6年度陳情人件費について

平成5年度改訂歩掛版の反響について

日額人件費の策定は、全国120社の技術者の賃金実態調査の実施、建設省、業界の賃金

アップ率とリンクし検討した。

日当、宿泊は平成5年度とほぼ同額

九州地区は、工事編の利用、質問が多く改訂版の内容説明に反響が多い。

北海道は全体に単価が安く現在P R中。

東北地区は、クライアントに積算説明会の実施、アンケートにより利用実態の追跡調査を行っている説明をして各地区協会の興味をひいた。

全地連への問い合わせは、アンカー、グラウトが多い。

